

Influenza at the human-animal interface

動物由来インフルエンザ情報

2013年12月20日現在の概要と評価

http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/Influenza_Summary_IRA_HA_interface_20December13.pdf

1 鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスによるヒトの感染症

2003年から2013年12月20日までに、ヒトの鳥インフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染症で、15カ国から公式に648人の検査確定症例がWHOに報告されました。そのうち384人が死亡しています。

WHOの動物由来インフルエンザ情報を最終12月10日に更新してから、新たなヒトのインフルエンザ A (H5N1) ウイルス感染の検査確定症例は報告されませんでした。

鳥インフルエンザ A (H5N1) 型ウイルスの公衆衛生上のリスク評価

インフルエンザウイルスは絶えず家禽類を循環しており、家庭で飼育している感染家禽や汚染環境に接触したヒトに、散発的感染や小規模な症例の集積が起こる可能性があります。しかし、現在のところ、このインフルエンザ A (H5N1) ウイルスは簡単にはヒトに感染しないので、このウイルスが地域社会に拡散するリスクは低い状態です。

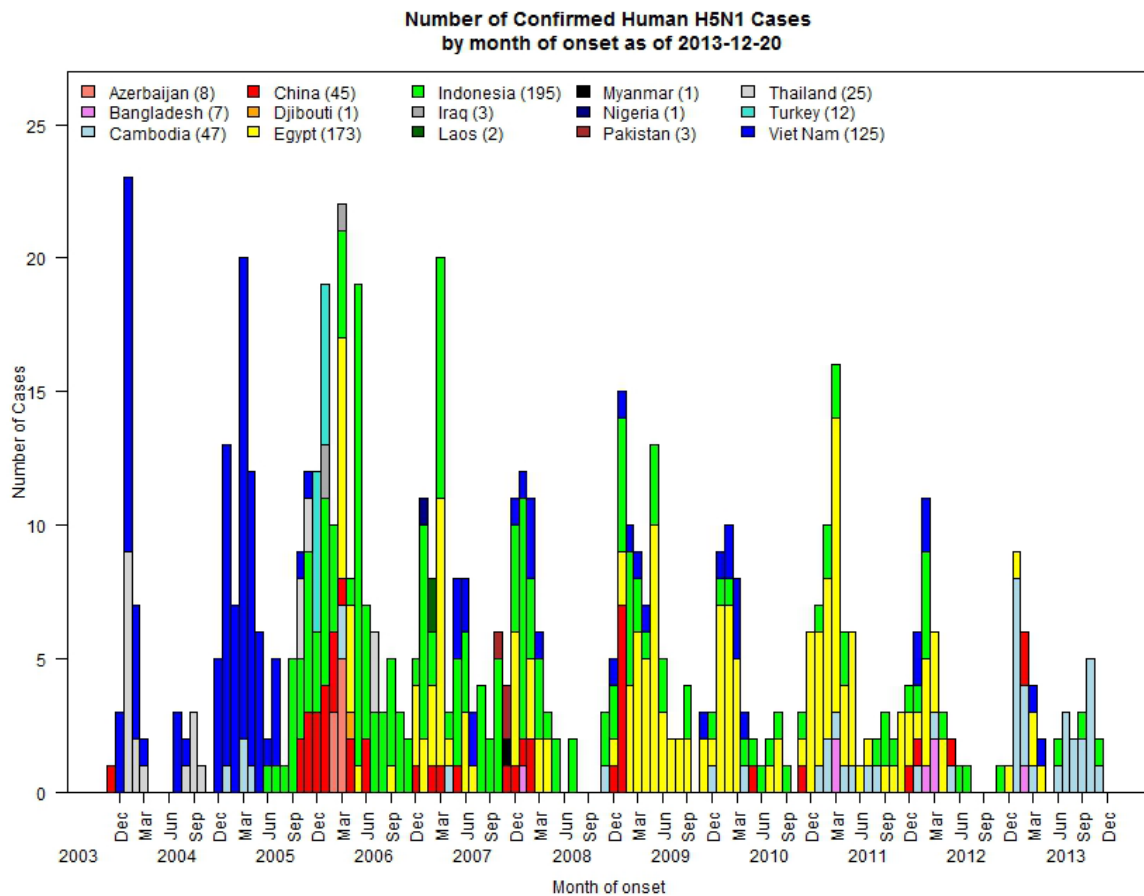


図1 国別・発症月別ヒトの鳥インフルエンザA (H5N1) 症例の流行曲線

2 他の季節性以外のインフルエンザウイルスによるヒトの感染

中国におけるA (H7N9) 鳥インフルエンザ

今年12月10日の最終更新以降、中国政府は鳥インフルエンザA (H7N9) ウイルスによる4人の新たなヒトの症例（広東省）を報告しました。発生期間は、12月6日から11日の間です。新たな患者はすべて、重篤な状態です。

ほとんどの A(H7N9) 症例では、家禽が生鳥市場の鳥との接触歴が報告されています。このウイルスは家禽に不顕性感染するため、動物での主なウイルスのリザーバー（保菌動物）、拡散や分布についての知見は限られているが、ウイルスは発見されずに中国やおそらく隣国を循環し続けている可能性があります。そのため、特に北半球の冬季始まり頃を含めて、中国の新年の祝日の予想としては、地域で家禽の生産と移動の増加があるので、更なるヒトの症例と動物での感染が報告される可能性があります。

5つの小規模の家族での小規模な症例の集積が報告されていますが、現在、このウイルスの持続したヒト-ヒト感染を立証する証拠はありません。

鳥インフルエンザA (H7N9) ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

中国で以前に流行があった地域や隣接した国々で、ヒトの散発事例や小規模な症例の集積が起こる可能性があります。しかし、このウイルスの地域社会への拡散についての現時点の可能性は、低いと思われます。

動物やヒトでの感染を探知するためには、中国や近隣地域において継続した警戒が必要です。WHOは、国々に対し、サーベイランスとその他の準備の実施（適切な検査能力の確保を含む）を継続するよう依頼しています。鳥インフルエンザA (H7N9) のような季節性インフルエンザウイルス以外のすべてのヒト感染は、世界保健規則（IHR2005）に則ってWHOに報告されます。

鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスの感染者で症状のあるヒトは、迅速な抗ウイルス治療を受けなければなりません。鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルス暴露後の抗ウイルス薬による予防投与は、一般的には推奨されていません。高い暴露を受けた場合または鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルス感染確定患者と接触した基礎疾患のあるハイリスクな無症状者に対しては、オセルタミビルを経口投与やザナミビルの吸入による抗ウイルス薬による予防投与が考慮されるべきです。

鳥インフルエンザに関係した指針と同様に最新の技術情報は以下で入手することができます。
http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

中国における鳥インフルエンザA(H10N8)

12月17日、中国政府は江西省での鳥インフルエンザA(H10N8)ウイルスによるヒトの感染症を報告しました。患者は複数の合併症のある73歳の女性です。女性は重篤な肺炎があり、11月30日に入院しましたが、12月6日に死亡しました。患者の合併症は、患者が以前に健康であった時よりも、より重篤な病状に関係した可能性があります。患者は、生鳥市場の鳥との接触歴がありました。鳥インフルエンザA(H10N8)ウイルスは野鳥や飼育鳥で以前に報告されていますが、この事例は、WHOに報告されたインフルエンザA(H10N8)感染症の最初のヒトの症例です。これまで、接触者での症例は探知されていませんが、追跡は継続されています。保健省と農業省は、特に、鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスと関連した事例が確認された経緯のある地域で、ヒト、家禽および環境におけるインフルエンザのサーベイランスを強化し続けています。

鳥インフルエンザA(H10N8)ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

現在の疫学的情報に基づき、この事例は鳥インフルエンザA(H10N8)による今回の事例は、おそらく、中国で現在の強化されたインフルエンザサーベイランスの結果として探知された散発性の鳥インフルエンザA(H10N8)によるヒトの感染症であったように思われます。現地の家禽集団におけるウイルスの流行についてはよく知られていませんが、もし家禽集団に循

環していたウイルスにヒトが暴露した場合には、鳥インフルエンザA(H10N8)によるヒトの散発性の感染症例は起こる可能性があります。

米国におけるヒトのインフルエンザA(H3N2)変異型ウイルスによる感染症

今年12月10日の最終更新以降、インフルエンザA(H3N2)v(変異型ウイルス)による新たなヒトの感染症例は、米国からは報告されませんでした。今年はいくまでか、米国は19人のインフルエンザA(H3N2)vによるヒトの感染症例を報告しています。

インフルエンザA(H3N2)変異型ウイルスに対する全体的な公衆衛生上のリスク評価

このウイルスは米国のブタ集団を循環しているため、更なるヒトの症例と小規模な症例の集積が起こる可能性があります。しかし、伝えられるところによれば、大多数のヒトの症例が暴露を受ける農業祭は、冬季には米国で滅多に開催されません。このウイルスの地域社会への拡散についての現時点の可能性や公衆衛生上の影響は低いと考えられています。

3 潜在的な公衆衛生上の脅威である高病原性鳥インフルエンザによる動物での集団発生

中国での鳥インフルエンザA(H7N9)ウイルスの出現とこのウイルスによるヒトの感染症のため、中国、中国の近隣諸国、そして世界的に、ヒトと動物の両方において、種々の亜型の鳥インフルエンザに対するサーベイランスが強化されています。したがって、鳥インフルエンザA(H5N1)、A(H7N9)、および多様な他の亜型や再集合のウイルスが、数か月間にわたってヒトや動物に検出されることが予想されます。公衆衛生や動物衛生に影響する可能性のあるウイルス学のおよび疫学的変異を探知するため、すべての季節性以外のインフルエンザ事例が適切な経路を通じて報告されること、また、適切な動物またはヒトのインフルエンザレファレンス検査施設においてウイルスが収集され、かつ十分な特徴づけが行われることが重要です。

インフルエンザウイルスは常に進化する性質があるため、WHOは動物とヒトにおけるインフルエンザウイルスについて世界的な監視の重要性を強調し続けており、平常時のインフルエンザサーベイランスを強化することをすべての加盟国に勧奨しています。季節性以外のインフルエンザウイルスによるすべてのヒトの感染症も、世界保健規則(2005)に則ってWHOに報告されます。

平成 25 年 12 月 25 日

滋賀県衛生科学センター
健康危機管理情報センター 仮訳